



## 2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2024年10月25日

上場会社名 エムケー精工株式会社  
コード番号 5906 URL <https://www.mkseiko.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
半期報告書提出予定日 2024年11月1日  
配当支払開始予定日  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 026-272-0601

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年3月21日～2024年9月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	14,830	7.5	1,513	54.3	1,522	45.5	1,009	54.0
2024年3月期中間期	13,795	8.4	980	51.2	1,046	44.7	655	35.9

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 1,312百万円 (18.1%) 2024年3月期中間期 1,111百万円 (28.4%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	67.25	
2024年3月期中間期	44.76	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	28,591	16,244	56.8
2024年3月期	26,777	15,031	56.1

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 16,244百万円 2024年3月期 15,031百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		8.00	8.00
2025年3月期		0.00			
2025年3月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年3月21日～2025年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,500	3.4	1,800	15.4	1,800	20.1	1,200	68.2	79.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	15,595,050 株	2024年3月期	15,595,050 株
期末自己株式数	2025年3月期中間期	876,184 株	2024年3月期	920,272 株
期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	15,015,448 株	2024年3月期中間期	14,646,165 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間 .....	6
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大により緩やかに回復しました。一方で、不安定な国際情勢や世界的な資源価格の高騰による継続的な物価上昇など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが関連する業界におきましては、オート機器及び情報機器の分野では、設備投資が引き続き好調に推移したものの、生活機器の分野では、全般的な物価上昇の長期化に伴う消費活動の下押し要因もあり、予断を許さない経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは外部環境の変化を前提とした強固な経営基盤の再構築と次の成長フェーズに向けた構造改革の推進により、グループ全体の最適化とシナジー強化、収益力の向上に努めてまいりました。また、社会における多様なニーズやその変化に応えるべく、高付加価値商品の研究開発に注力するとともにメンテナンス体制の強化を図り、モノづくりとサービスの高度化に取り組んでおります。そして、SDGsや脱炭素社会の実現を含む様々な課題を“美・食・住”の視点から探求し、新しい事業、製品及びサービスのデザインを通じて、持続可能な社会の実現と中長期的な企業価値の向上を目指しております。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は148億3千万円(前年同期比7.5%増)、営業利益は15億1千3百万円(前年同期比54.3%増)、経常利益は15億2千2百万円(前年同期比45.5%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は10億9百万円(前年同期比54.0%増)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

#### (モビリティ&サービス事業)

主力の門型洗車機は、SS(サービスステーション)向けでは、政府助成事業の補助金制度により大幅に増加した前年同期に比べ、今期は同制度の対象外となり売上げが鈍化しましたが、油外収益向上に向けた設備投資意欲に支えられ、ほぼ前年並みに推移しました。カーディーラー向けでは、整備作業の省力化需要により、売上げが伸長しました。オイル機器は、ローリーの売上げが伸び悩んだものの、エアコンプレッシャーは堅調に推移しました。情報機器では、官公需向けの道路情報板の売上げが低調に推移する中、工事用保安機器は製品の機種増加が奏功し好調に推移しました。また、大型LEDビジョンは、大手顧客からの受注増により売上げが伸長し、全体として前年実績を大きく上回りました。

その結果、売上高は前年同期比4.8%増の100億5千6百万円となりました。

#### (ライフ&サポート事業)

主力製品の低温貯蔵庫と、パン焼き機や電気せいろなどの家電商品は、需要の回復が見られず売上げは前年実績を下回りました。一方、保冷米びつや精米機などの米関連商品は、米不足を契機とする消費者の米保管需要の高まりなどにより好調に推移しました。また、音響関連商品は、特定顧客向け製品の受注により売上げが伸長し、攪拌機は、官庁物件の受注増により売上げを伸ばしました。食品加工機は、設備投資の回復や海外市場の経済活動の進展により好調を維持したことから、売上げは前年実績を上回りました。

その結果、売上高は前年同期比9.4%増の30億4千1百万円となりました。

#### (住設機器事業)

住設機器としては、主に木・アルミ複合断熱建具、反射板式消音装置、鋼製防火扉等を製造・販売しております。建築資材価格の高止まりや人手不足の影響により、建築計画の見直しや延期もあります。木・アルミ複合断熱建具は、脱炭素社会の実現に向けて、木材利用の加速やZEB化に向けた高断熱建材の需要増加などが追い風となり、好調を維持しています。また、民間企業の社屋や施設においても木質化が進み、木・アルミ複合断熱製品の採用は広がりを見せており、売上げが伸長しました。消音装置についても、都市部の再開発事業、データセンター、ホテル、学校関係での需要が増加し、好調に推移しました。

その結果、売上高は前年同期比23.5%増の15億9千7百万円となりました。

#### (その他の事業)

保険代理業、不動産管理・賃貸業、長野リンドンプラザホテルの運営に係るホテル業が主体となります。ホテル業は、同業他社との競争が激化する中、イベントや各種スポーツ大会での団体客の獲得に努めてまいりました。宿泊客はビジネス客が中心のためインバウンド需要による恩恵は乏しく、売上げは前年実績を僅かに下回ったものの、その他の事業全体としては、売上高は前年同期比3.4%増の1億3千4百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ18億1千3百万円増加し285億9千1百万円となりました。流動資産は19億9千7百万円増の194億4千1百万円、固定資産は1億8千3百万円減の91億4千9百万円となりました。これは主に事業の繁閑等の季節的要因に伴い売上債権が17億9千4百万円増加したこと、のれんが6千5百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債の合計は、前連結会計年度末に比べ6億1百万円増加し123億4千6百万円となりました。流動負債は3億7千4百万円増の102億7千5百万円、固定負債は2億2千6百万円増の20億7千1百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が5億2千6百万円増加したことと、長期借入金が1億3千2百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ12億1千2百万円増加し、162億4千4百万円となりました。これは主に利益剰余金が8億9千2百万円増加したことと、為替換算調整勘定が3億5千5百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ1億8千9百万円減少し、22億2千8百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、1億2千2百万円(前年同期比4億8千6百万円の減少)となりました。主な要因は、税金等調整前中間純利益15億6百万円を計上したことや仕入債務の増加額5億2千4百万円により資金が増加した一方、売上債権の増加額17億7千7百万円や棚卸資産の増加額1億8千2百万円により資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1億5千6百万円(前年同期比3億1千6百万円の減少)となりました。主な要因は、定期預金の払戻による収入19億8千8百万円により資金が増加した一方、定期預金の預入による支出20億3千3百万円や有形固定資産の取得による支出7千2百万円により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、2千5百万円(前年同期比8億6千1百万円の減少)となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出5億2千5百万円及び配当金の支払額1億1千7百万円により資金が減少した一方、長期借入れによる収入7億円により資金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年4月26日に公表しました2025年3月期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2024年10月25日)公表しました「2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月20日)	当中間連結会計期間 (2024年9月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,870,322	4,886,641
受取手形、売掛金及び契約資産	5,040,255	6,834,267
商品及び製品	2,610,928	2,624,068
仕掛品	1,666,730	1,775,786
原材料及び貯蔵品	2,802,101	2,945,662
その他	467,747	392,039
貸倒引当金	△14,430	△17,210
流動資産合計	17,443,655	19,441,256
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,505,861	1,459,759
機械装置及び運搬具(純額)	132,695	114,005
土地	3,110,030	3,110,030
その他(純額)	214,432	217,785
有形固定資産合計	4,963,021	4,901,581
無形固定資産		
のれん	232,289	166,897
その他	765,241	725,909
無形固定資産合計	997,530	892,807
投資その他の資産	3,373,286	3,355,554
固定資産合計	9,333,838	9,149,942
資産合計	26,777,493	28,591,199

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月20日)	当中間連結会計期間 (2024年9月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,292,338	1,819,258
短期借入金	1,600,000	1,650,000
1年内返済予定の長期借入金	976,896	1,018,384
未払金	4,122,893	4,109,185
未払法人税等	517,960	497,155
賞与引当金	557,560	587,300
引当金	133,324	133,324
その他	700,185	461,131
流動負債合計	9,901,157	10,275,740
固定負債		
長期借入金	1,033,310	1,166,256
退職給付に係る負債	276,209	267,740
その他	535,181	637,155
固定負債合計	1,844,700	2,071,152
負債合計	11,745,857	12,346,892
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,373,552	3,373,552
資本剰余金	2,935,630	2,932,559
利益剰余金	7,908,982	8,801,447
自己株式	△429,433	△408,860
株主資本合計	13,788,731	14,698,699
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	770,464	718,051
為替換算調整勘定	566,894	922,298
退職給付に係る調整累計額	△94,454	△94,742
その他の包括利益累計額合計	1,242,904	1,545,607
純資産合計	15,031,635	16,244,306
負債純資産合計	26,777,493	28,591,199

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
 (中間連結損益計算書)  
 (中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年9月20日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年9月20日)
売上高	13,795,465	14,830,198
売上原価	9,292,841	9,748,465
売上総利益	4,502,623	5,081,732
販売費及び一般管理費	3,521,632	3,568,375
営業利益	980,990	1,513,357
営業外収益		
受取利息	13,673	33,052
受取配当金	34,725	39,406
その他	42,616	38,342
営業外収益合計	91,016	110,801
営業外費用		
支払利息	18,169	13,077
その他	7,092	88,505
営業外費用合計	25,261	101,583
経常利益	1,046,745	1,522,575
特別利益		
固定資産売却益	872	—
特別利益合計	872	—
特別損失		
減損損失	—	16,052
特別損失合計	—	16,052
税金等調整前中間純利益	1,047,617	1,506,523
法人税、住民税及び事業税	351,995	448,310
法人税等調整額	40,028	48,349
法人税等合計	392,023	496,660
中間純利益	655,593	1,009,863
親会社株主に帰属する中間純利益	655,593	1,009,863



(中間連結包括利益計算書)  
(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年9月20日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年9月20日)
中間純利益	655,593	1,009,863
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	221,114	△52,413
繰延ヘッジ損益	635	—
為替換算調整勘定	232,581	355,403
退職給付に係る調整額	1,426	△287
その他の包括利益合計	455,758	302,702
中間包括利益	1,111,352	1,312,565
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,111,352	1,312,565

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年9月20日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年9月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	1,047,617	1,506,523
減価償却費	338,281	245,105
減損損失	—	16,052
のれん償却額	78,540	65,391
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,509	720
賞与引当金の増減額(△は減少)	20,501	29,740
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△42,241	△50,827
受取利息及び受取配当金	△48,907	△72,459
支払利息	18,169	13,077
有形固定資産売却損益(△は益)	△872	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,454,842	△1,777,078
棚卸資産の増減額(△は増加)	△522,057	△182,577
その他の資産の増減額(△は増加)	14,940	119,178
仕入債務の増減額(△は減少)	264,271	524,348
その他の負債の増減額(△は減少)	56,130	△151,562
小計	△223,959	285,633
利息及び配当金の受取額	48,645	72,424
利息の支払額	△18,314	△13,292
法人税等の支払額	△414,684	△466,770
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△608,312</b>	<b>△122,004</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,915,875	△2,033,351
定期預金の払戻による収入	1,582,902	1,988,213
有形固定資産の取得による支出	△112,070	△72,140
有形固定資産の売却による収入	872	—
無形固定資産の取得による支出	△30,134	△34,647
投資有価証券の取得による支出	△4,051	△4,254
貸付金の回収による収入	1,320	1,200
その他の支出	△6,902	△8,133
その他の収入	11,074	6,952
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△472,865</b>	<b>△156,160</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,250,000	50,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△103,240	△81,368
長期借入れによる収入	410,000	700,000
長期借入金の返済による支出	△523,780	△525,566
配当金の支払額	△146,285	△117,398
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>886,693</b>	<b>25,667</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	40,298	62,978
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△154,185	△189,519
現金及び現金同等物の期首残高	1,899,847	2,418,418
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,745,661	2,228,899

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年3月21日 至 2023年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	モビリティ& サービス事業	ライフ& サポート事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる 収益	9,592,324	2,778,717	1,293,863	130,559	13,795,465	—	13,795,465
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	9,592,324	2,778,717	1,293,863	130,559	13,795,465	—	13,795,465
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,053	362,220	305	93,830	458,410	△458,410	—
計	9,594,377	3,140,938	1,294,169	224,390	14,253,876	△458,410	13,795,465
セグメント利益又は損失 (△)	1,526,930	70,958	29,022	55,940	1,682,852	△701,861	980,990

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△701,861千円には、セグメント間取引消去13,252千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△715,113千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年3月21日 至 2024年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	モビリティ& サービス事業	ライフ& サポート事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる 収益	10,056,640	3,041,100	1,597,519	134,938	14,830,198	—	14,830,198
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	10,056,640	3,041,100	1,597,519	134,938	14,830,198	—	14,830,198
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,126	363,753	—	96,396	462,276	△462,276	—
計	10,058,766	3,404,853	1,597,519	231,334	15,292,474	△462,276	14,830,198
セグメント利益又は損失 (△)	1,694,809	332,436	136,408	58,102	2,221,756	△708,399	1,513,357

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△708,399千円には、セグメント間取引消去16,854千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△725,253千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない提出会社の費用です。
2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(固定資産に係る重要な減損損失)  
「ライフ&サポート事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間においては16,052千円であります。